

平成 28 年度第 2 回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：5月9日（月）

時間：18時30分～21時00分

会場：品川区総合体育館 地下1階会議室

出席者：一川邦彦、河原茂光（以上副会長2名）、釋洋一（監事）、久我晃広（理事長）、宮澤哲郎（事務局長）成田健一、野澤達、野村佳正、臼井伸一、下平歩実、萬納宏俊（以上常任理事6名）、渡邊陸（学連委員長）、奥原健登、片伊勢有紗（以上学連副委員長2名）、三浦隆輔（競技委員長）、石井雄（審判委員長）、加藤大和（広報委員長）、皆川真裕子（財務委員長）、田中真名美（書記）

以上 19 名

古屋会長が欠席のため、一川副会長が司会を担当し定刻開催。

【審議事項】

1. インカレ実行委員会の立ち上げ

最初に、日本ホッケー協会より要請のあった『第 65 回・女子 38 回全日本学生ホッケー選手権大会』の日程変更について協議した。協議の結果、当初日程（11月2日～6日）を変更し、新日程（11月9日～13日）で行うこととした。

次に、宮澤事務局長より『第 65 回・女子 38 回全日本学生ホッケー選手権大会実行委員会構成員（仮）』及び『平成 28 年度男子 65 回・女子 38 回全日本学生ホッケー選手権大会 運営組織図（案）』の説明があった。大会運営委員の役職、職務についての話し合いが行われた。以上の議論の結果、運営委員長に一川邦彦関東学連副会長が就任することが決定された。また競技役員のジャッジは関東学連が手配することが成田常任理事より、また 5 月 27 日の日学連役員会において平成 28 年度インカレ実施要項、予算案の提出をする予定である旨が久我理事長より伝えられた。

なお、大会運営委員の職務内容（対応すべき事項）については、今後のインカレ実行委員会で具体的に詰めていくことを確認した。

2. 平成 28 年度春季リーグ等の課題

三浦競技委員長より、競技日程の変更についての報告があった。6月19日の平成28年度関東学生ホッケーリーグ男女2部上位決定戦で使用される予定だった慶應日吉グラウンドが他大会の都合で同日に使用できないことが判明したため、6月18日に男女2部上位決定戦を、6月19日に武蔵朝霞グラウンドで男女2部下位決定戦を行う日程に変更したとの報告があった。また、リーグ開幕後に6月26日に入れ替え戦が予定されていた法政多摩グラウンドが、法政大学が日本リーグに出場することから会場を変更してほしいとの大学側からの要請を受けたこと、会場の変更先は未定であることが報告された。以上より、現状試合日程は確定前に各学連に配信、確認してもらっているが、各会場責任者に対しては徹底した確認を促すことでこのような事態を防ぐとの報告があった

3.五輪関連事項

河原副会長より五輪関連事項の説明がされた。2020 東京オリンピックに際して品川区に第一ホッケーグラウンド、大田区に第二ホッケーグラウンドが建設されるにあたり品川区にてホッケー教室が活発に行われ、小中学生へのホッケーの普及を大学生にも依頼してゆくこと、関東学連がホッケー普及の窓口となるよう、また品川ホッケースタジアムを関東連のリーグ戦での後利用を可能にすべく活動することについての指示があった。

【報告・連絡事項】

4.日学連役員会

平成 28 年 2 月 26 日に開催された、日学連役員会の内容について久我理事長より報告された。

5.各委員会報告

5-1.平成 28 年度 TO 講習会事業報告

奥原学連副委員長より、平成 28 年度 TO 講習会事業報告があった。反省点として TO 講習会ではジャッジ・ボールサーバー講習会のようにグループ分けをしていなかったため混乱が生じたため、来年度は作成すべきであるとの報告がされた。

5-2.平成 28 年度ジャッジ・ボールサーバー講習会事業報告

奥原学連副委員長より、平成 28 年度ジャッジ・ボールサーバー講習会事業報告があった。反省点として一人ひとりがボールサーバーとしての業務を行える時間が少なかったことを受けて、来年度からは講義時間を短縮し、実技に充てる時間を長くする、または、午前に実技、午後に講義を実施する等の対応をする必要があるとの報告があった。

5-3.平成 28 年度コンプライアンスセミナー・栄養学セミナー実施計画

奥原学連副委員長より、平成 28 年度コンプライアンスセミナー・栄養学セミナー実施計画について報告があった。昨年度との変更点として、講習会の目的を、飲酒に対する意識付けから、AED 心肺蘇生法にするととの報告があった。

5-4.平成 28 年度所属審判講習会事業報告

石井審判委員長より、平成 28 年度所属審判講習会事業報告があった。所属審判講習会の決算について、JHA の D 級審判登録料が例年通りの 1,000 円から 2,000 円に値上がりしたが、講習会料を 3,000 円に据え置いたため、所属審判講習会から赤字が出たとの報告があり、来年度からの参加料を 3,000 円に据え置き 30,000 円の赤字を出すか、参加料を値上げし 30,000 円の黒字にするかについての議論がなされた。一川副会長より、C 級審判資格を取得する人が少ないことから、優秀な審判員を育成するという目的があるのであれば、赤字を出してでも D 級審判講習会を行う意義があるとの意見が出された。以上の議論の結果、所属審判講習会の講習料は例年通りの金額を徴収するとの結論が出された。

5-5.平成 28 年度表彰委員会活動報告

片伊勢表彰委員長より、基づき平成 28 年度表彰委員会活動報告があった。男子 2 部 3 部の優勝カップが破損しているため、修理又は新品を作成する件が検討された。修理の場合費用は 7,000 円であるが、ペナントが重すぎる、各校の管理状態が良くないことから再度破損する可能性が高い。新品製作の場合費用は 60,000 円であるが、他の部とは異なったデザインになることを考慮したうえで、審議が行われた。久我理事長より、各校の取り扱い方に問題があるのでは、修理をしたところで問題解決にはならないので、カップを授与されたチームの責任で破損は修理するべきとの意見が出された。片伊勢表彰委員長より、優勝校のペナントが重いことも破損の原因であるため、一概に各校の管理に問題があるとは言い切れないとの発言があった。以上の議論の結果、男子 2 部 3 部の優勝カップは新品を作成すること、プレートの刻印は以前のものから移植が可能であれば移植することが決定された。

5-6.平成 28 年度広報委員活動報告

加藤広報委員長より、基づき平成 28 年度広報委員活動報告があった。平成 28 年度関東学生ホッケー連盟春季リーグパンフレットにおける広告協賛の誤りについての報告があった。その後の対応として各企業様には書面上でのお詫び文書を作成したこと、訂正広告を掲載したことが報告された。また早稲田大学東伏見グラウンドでの昨年度のパフレットを誤って販売したことについて、購入者の方への速やかなお詫びと、今年度のパフレットの送付をするとの報告がされた。

以上

関東学生ホッケー連盟副会長

一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長

久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長

渡邊陸